

児発・放デイ | 実務ガイド

連絡帳の 書き方事例集

ROOTS

児発・放デイの運営ソフト | 株式会社INU
rootshub.jp



連絡帳は、事業所と家庭をつなぐ毎日の接点

活動の報告だけでなく、その日の心身の状態、反応や気持ち、次の支援につながる情報を共有します。

見える

一日の具体像を伝える

来所時の様子、活動内容、食事・排泄・睡眠など、家庭から見えない時間を具体的に共有します。

わかる

反応と気持ちを伝える

笑顔、集中、戸惑い、言葉や行動の変化を添え、どのように過ごしたかを伝えます。

つながる

次の関わりへつなぐ

次回の予定や家庭で共有したいことを添え、事業所と家庭の支援を連続させます。

「事実＋様子＋家庭へのつながり」で書く

読み手が状況を思い浮かべられる順番にすると、短い文章でもその子らしさが伝わります。

事実

いつ、どこで、何をしたか。活動、回数、時間、食事量などを具体的に書く。



様子

表情、言葉、反応、最初と後半の変化など、観察できた姿を書く。



家庭へのつながり

家庭で聞いてほしいこと、試せる関わり、次回の見通しを一言添える。

例|「公園で滑り台を3回楽しみました。最初は手すりを使っていましたが、3回目は両足を交互に出して登り、笑顔で職員を振り返りました。お家でも今日のお話を聞いてみてください。」

楽しい日と成長の日は、「その子らしい瞬間」を残す

楽しく過ごせた日

本日は公園で外遊びをしました。鬼ごっこでは自分から鬼役に立候補し、お友達と追いかけ合いながら笑顔で過ごしていました。帰る前には自分で水筒を出し、水分補給もできました。ぜひお家でも、楽しかった場面を聞いてみてください。

活動名+本人の選択や反応+家庭での会話のきっかけ

成長が見えた日

今日は、練習していた靴ひも結びを職員の手を借りずにできました。結べた靴をしばらく見つめたあと、「見て」と笑顔で知らせてくれました。お家でも、最後まで自分でできたことを一緒に喜んでいただければと思います。

できた事実+その瞬間の様子+何を認めてほしいか

トラブルと体調不良は、事実と対応を時系列で

トラブルがあった日

本日のおやつ前、席をめぐってお友達を押してしまう場面がありました。職員がすぐに間に入り、嫌だった気持ちを受け止めたうえで、言葉で伝える方法を一緒に確認しました。その後は本人から謝り、落ち着いておやつを食べています。明日も伝え方を練習します。

相手のお子さんの名前は書かない。事実→事業所の対応→今後の方針で伝える。

体調不良があった日

本日14時頃に腹痛の訴えがあり、検温すると37.8℃でした。別室で休み、14時10分に保護者へ電話で連絡しました。水分はお茶を200ml摂取し、15時のお迎え時は37.5℃でした。今夜も体温と食欲の様子をご確認ください。

時刻、症状・数値、対応、食事・水分、電話連絡を順番に残す。

避けたい書き方は、この3点

NG 1

抽象的な一言だけ

「今日も元気でした」「楽しく過ごしました」だけでは場面が伝わりません。活動と反応を一つずつ足します。

NG 2

実名や決めつけを書く

相手児童の名前、責任を決めつける表現、子どもを「困った子」と評価する表現は避けます。

NG 3

定型文をそのまま使う

コピペだけで終えず、当日固有の言葉・表情・行動を一文入れ、誤字脱字も読み返します。

「できませんでした」ではなく、「5分間は集中できました」のように、観察した事実を肯定的に書き換えます。

ROOTSの連絡帳機能で、書き方の型を毎日の運用に

記事で紹介した型を、連絡帳を書くときの共通チェックとして使います。

1 事実を書く

活動、時刻、回数、食事量など、当日の具体的な情報を入力する

2 その子の様子を足す

表情、言葉、反応、変化から、当日固有のエピソードを一つ残す

3 家庭へつなぐ

家庭で聞いてほしいことや次回の見通しを、押しつけずに添える

4 公開前に確認する

実名、決めつけ、誤字脱字、定型文だけになっていないかを読み返す

事業所では、書く時間の確保、活動別テンプレート、新人職員のダブルチェック、匿名事例の共有を組み合わせると、品質をそろえやすくなります。



具体的な一場面が、家庭との信頼をつくる

事実を具体的に書き、そのときの子どもの様子を添え、家庭での会話や次の支援へつなぐ。毎日一つ、その子だけのエピソードを残すことから始めます。

書き方の型

事実 + 様子 + 家庭へのつなぎ

公開前の確認

実名・決めつけ・定型文だけの文章を避ける

出典記事

rootshub.jp/career/articles/renrakucho-writing-examples

文例は出典記事をもとに、実名を使わない形へ短く再構成しています。施設の記録様式・連絡手段・緊急時の手順に合わせて調整してください。